

【研究科全体】 教育研究上の目的、教育目標、3方針

人材養成、その他教育研究上の目的

農学研究科（前期・後期各課程包含）【学則に掲載済みの内容】	(100文字程度)
本大学院農学研究科は、国内外の農学諸分野におけるフロンティアとして、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者及び高度専門技術者の人材養成を目指し、実学主義教育のもと論理的思考力と問題解決能力の獲得及び向上を図り、生物資源、生命科学、環境科学、健康科学並びに経営・経済分野の教育・研究を行うことを目的とする。	
生物産業学研究科（前期・後期各課程包含）【学則に掲載済みの内】	(100文字程度)
本大学院生物産業学研究科は、幅広い学問領域の知識を備え、高度な専門知識と能力及び創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ人材の育成を目指し、生物産業学に関する実学の精神と文理融合の教育体系に基づき、北方圏の地域性を活用した農林水産に関わる生物資源、バイオテクノロジー、経営経済分野の教育・研究を行うことを目的とする。	

【博士前期課程】

教育目標

農学研究科	168文字	(200～300文字程度)
農学研究科博士前期課程は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。①農学を基盤とし、それぞれの専攻分野における確かな知識と技術を有する者、②研究者・専門家としての責任を自覚し、実学主義のもと問題解決に取り組む能力と意欲を有する者、③適切なコミュニケーションおよびプレゼンテーション能力により社会への発信力を有する者。		
生物産業学研究科	174文字	(200～300文字程度)
生物産業学研究科博士前期課程は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。①生物産業学を基盤とし、それぞれの専攻分野における確かな知識と技術を有する者、②研究者・専門家としての責任を自覚し、実学主義のもと問題解決に取り組む能力と意欲を有する者、③適切なコミュニケーションおよびプレゼンテーション能力により社会への発信力を有する者。		

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

農学研究科	244文字	(200～300文字程度)
農学研究科博士前期課程は、その教育目標を踏まえ、次のような者に修士の学位を授与する。すなわち、農学を基盤としそれぞれの専攻分野における①確かな知識と技術を有する者、②研究者、教育者あるいは専門家としての能力を有する者、③論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらに多様な発信力を有する者、③科学者としての倫理を理解し、社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力と意欲を有する者。なお、研究科が定める所定単位の修得と博士前期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格しなければならない。		
生物産業学研究科	250文字	(200～300文字程度)
生物産業学研究科博士前期課程は、その教育目標を踏まえ、次のような者に修士の学位を授与する。すなわち、生物産業学を基盤としそれぞれの専攻分野における①確かな知識と技術を有する者、②研究者、教育者あるいは専門家としての能力を有する者、③論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらに多様な発信力を有する者、③科学者としての倫理を理解し、社会の問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力と意欲を有する者。なお、研究科が定める所定単位の修得と博士前期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格しなければならない。		

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

農学研究科	341文字	(250～350文字程度)
農学研究科博士前期課程は、研究科各専攻の教育目標を踏まえ、各専攻において共通して理解すべき学識を得るための特論科目により基盤を築き、選択科目により専門内容をさらに深化させ、あるいは、研究者、教育者あるいは技術者として必要なプレゼンテーションあるいはコミュニケーション能力を向上させ、実験科目により実験技術を修得し、演習科目により知識を深めるとともに発表能力や問題解決能力を増強する。さらに、修士論文の執筆によって、指導教員による密接な指導の下に、問題の発見から研究計画の立案、実験や調査など研究の実施、綿密な議論や考察、文献探索などを実践して専門性を高め、論文の執筆、発表等を体得することにより、農学にかかわる高度な研究者・専門家としての総合力を確立するためのカリキュラムを配置する。		
生物産業学研究科	347文字	(250～350文字程度)
生物産業学研究科博士前期課程は、研究科各専攻の教育目標を踏まえ、各専攻において共通して理解すべき学識を得るための特論科目により基盤を築き、選択科目により専門内容をさらに深化させ、あるいは、研究者、教育者あるいは技術者として必要なプレゼンテーションあるいはコミュニケーション能力を向上させ、実験科目により実験技術を修得し、演習科目により知識を深めるとともに発表能力や問題解決能力を増強する。さらに、修士論文の執筆によって、指導教員による密接な指導の下に、問題の発見から研究計画の立案、実験や調査など研究の実施、綿密な議論や考察、文献探索などを実践して専門性を高め、論文の執筆、発表等を体得することにより、生物産業学にかかわる高度な研究者・専門家としての総合力を確立するためのカリキュラムを配置する。		

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

農学研究科	200文字	(200～300文字程度)
農学研究科博士前期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者の受け入れを行う。①農学の当該専攻分野における四年制大学修了程度の学力を有する者。②国内外における科学・技術を理解するための語学力を有する者。③豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する者。④当該専攻分野に対する強い関心、研究者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有する者。		
生物産業学研究科	206文字	(200～300文字程度)
生物産業学研究科博士前期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者の受け入れを行う。①生物産業学の当該専攻分野における四年制大学修了程度の学力を有する者。②国内外における科学・技術を理解するための語学力を有する者。③豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する者。④当該専攻分野に対する強い関心、研究者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有する者。		

【博士後期課程】

教育目標

農学研究科	154文字	(200～300文字程度)
農学研究科博士後期課程は、人材養成目的を踏まえ、次のような者の育成を教育目標とする。①農学への深い理解に基づき、それぞれの専攻分野における高度な知識と技術を有する者、②研究者・教育者あるいは専門家として独立して活躍しうる能力を有する者、③豊かな見識と学識により国際的にリーダーとして活躍しうる能力を有する者。		
生物産業学研究科	160文字	(200～300文字程度)
生物産業学研究科博士後期課程は、人材養成目的を踏まえ、次のような者の育成を教育目標とする。①生物産業学への深い理解に基づき、それぞれの専攻分野における高度な知識と技術を有する者、②研究者・教育者あるいは専門家として独立して活躍しうる能力を有する者、③豊かな見識と学識により国際的にリーダーとして活躍しうる能力を有する者。		

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

農学研究科	282文字	(200～300文字程度)
農学研究科博士後期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者に博士の学位授与を行う。農学に対する深い理解の上に、①それぞれの専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を有する者、②協調性を持ちながらも独立して、研究・教育あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有する者、③多様なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を有する者、④科学者としての倫理を理解し、その専門性に基いて社会への責任を果たそうとする者。なお、農学研究科が定める所定単位の修得と博士後期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格しなければならない。		
生物産業学研究科	291文字	(200～300文字程度)
生物産業学研究科博士後期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者に博士の学位授与を行う。生物産業学に対する深い理解の上に、①それぞれの専攻分野における高い専門性を保証する国際的なレベルでの高度な知識と技術を有する者、②協調性を持ちながらも独立して、研究・教育あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有する者、③多様なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を有する者、④科学者としての倫理を理解し、その専門性に基いて社会への責任を果たそうとする者。なお、生物産業学研究科が定める所定単位の修得と博士後期課程における学位論文評価基準に基づく審査に合格しなければならない。		

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

農学研究科	212文字	(250～350文字程度)
研究を通しての教育を重視し、研究の全行程を通して専門分野への学識を深め、コミュニケーション能力を増強し、博士論文の執筆においては、指導教員による密接な指導の下に、問題の発見から研究計画の立案、実験や調査など研究の実施、綿密な議論や考察、文献探索などを実践して各自の専門性を確立し、論文の執筆、発表等を体得することにより、農学にかかわる高度な研究者・専門家としての総合力を確立するカリキュラムを編成し、あるいは、教育を実施する。		
生物産業学研究科	215文字	(250～350文字程度)
研究を通しての教育を重視し、研究の全行程を通して専門分野への学識を深め、コミュニケーション能力を増強し、博士論文の執筆においては、指導教員による密接な指導の下に、問題の発見から研究計画の立案、実験や調査など研究の実施、綿密な議論や考察、文献探索などを実践して各自の専門性を確立し、論文の執筆、発表等を体得することにより、生物産業学にかかわる高度な研究者・専門家としての総合力を確立するカリキュラムを編成し、あるいは、教育を実施する。		

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

農学研究科	222文字	(200～300文字程度)
農学研究科博士後期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者の受け入れを行う。①農学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有する者。②国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有する者。③研究者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する者。④研究者・教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有する者。		
生物産業学研究科	228文字	(200～300文字程度)
生物産業学研究科博士後期課程は、教育目標を踏まえ、次のような者の受け入れを行う。①生物産業学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有する者。②国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有する者。③研究者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する者。④研究者・教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有する者。		

[専攻単位] 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）	
【博士前期課程】	
農学	農学専攻では、作物、育種、植物病理、昆虫、園芸作物、バイオテクノロジー、ポストハーベストなどの農学に関する基礎学力を有し、明確な目的意識と探求心をもって研究を進めようとする意欲を持つ者の受け入れを行う。
畜産	畜産学専攻では、畜産学の専門領域における基礎的な本専攻のあらゆる関連分野において常に時代の要請に応えるリーダーとして活躍し、豊かな社会の創造・発展に寄与することに強い意欲を持つ者の受け入れを行う。
セラピー	バイオセラピー学専攻では、農学を基盤とした動植物または人の健康や福祉に関する専門知識を有し、バイオセラピー学に創造的に取り組む意欲と能力を備え、時代を切り拓くための意欲を持つ者の受け入れを行う。
バイオ	バイオサイエンス専攻では、バイオサイエンスに興味を持ち、生命現象の本質の理解、最先端技術・知識獲得、学会・論文発表に意欲を有する者、また食糧、健康、環境に関する重要課題を解決し、産業・社会に貢献する意志のある者の受け入れを行う。
農化	農芸化学専攻では、研究課題を多面的に捉え、新たな発想を積極的に研究に取り入れることにより、食・健康・環境に関わる様々な現象の解明にチャレンジする意欲の高い者の受け入れを行う。
醸造	醸造学専攻では、醸造産業をはじめとする微生物利用産業に興味を持ち、微生物学的又は化学的な研究能力の向上に意欲的であり、微生物や発酵を利用した、食品、医薬品、化学工業、環境関連産業等の発展に専門職業人として貢献する意欲がある者、研究に熱意を持って取り組める者の受け入れを行う。
食栄	食品栄養学専攻では、食品学や栄養学などの専門領域における基礎的な学力を有し、問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を持つ者の受け入れを行う。
林学	林学専攻では、森林、林学、林産学、農山村に関する専門領域における基礎的な学力を有し、森林の保全と多面的機能の高度利用、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を持つ者の受け入れを行う。
農工	農業工学専攻では、農業工学に関する基礎的な知識・技術を有し、地域資源の有効利用と循環型社会構築および環境問題解決に技術者として貢献したいという強い意欲がある者の受け入れを行う。
造園	造園学専攻では、都市や自然地域において快適環境をもたらすための課題解決や関連する教育・研究に積極的にチャレンジする意欲的な人材を求めます。具体的には、造園・景観計画、緑地・環境デザイン、造園植物資源に深い興味や意識を持ち、豊かな感性と総合デザイン力、確かな倫理観を持つ者の受け入れを行う。
開発	国際農業開発学専攻では、国内外の農業開発、国際協力、環境問題に興味を持つ者、国際的な活躍をめざして異なる文化や社会に適応しながら活動できる者の受け入れを行う。
農経	農業経済学専攻では、農業経済学・食料経済学・環境経済学の専門領域における基礎的な学力を有し、専門家として社会で活躍することに強い意欲を持つ者の受け入れを行う。
ビジネス	国際バイオビジネス学専攻では、国内外の食・農・環境ビジネスに対する関心と基礎知識を有し、その持続的発展への貢献に強い意欲を持つ者で、英語力と国際コミュニケーション能力の一層の開発を希求する者の受け入れを行う。
生物生産	生物生産学専攻では、動・植物を合わせた総合的な生物資源生産に関する高度な専門的知識、研究手法の修得を目指す者、また生物資源の開発や地域に根差した生物生産の実践に寄与する高度な専門的職業人を志す者の受け入れを行う。
アクアバイオ	アクアバイオ学専攻では、生物学、資源学、環境学等の専門領域における基礎的な学力を有し、問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を有する者の受け入れを行う。
食品香粧	食品香粧学専攻では、食品や香粧品の製造・機能性・安全性などに関わる化学、生物化学、機能生理学、微生物学および物理工学的な研究テーマに興味を持ち、その研究を強く推進する意欲を持った者の受け入れを行う。
産業経営	産業経営学専攻では、経営学、会計学、マーケティングならびに経済学、そして情報処理・管理学、農学等の社会科学的分野から、地域資源を活用して多様な発展を遂げている地域生物産業を担う企業の持続的発展とそための問題解決を研究テーマに積極的かつ意欲的に研究に取り組む強い意欲を有する者の受け入れを行う。

【博士後期課程】

農学	農学専攻では、農学に関する専門的な学識と基礎的な研究能力を有し、将来、農学における専門職業人・研究者として活躍し、地域社会や国際社会に貢献しようとする者の受け入れを行う。
畜産	畜産学専攻では、畜産学の専門領域における基礎的な本専攻のあらゆる関連分野において常に時代の要請に応えるリーダーとして活躍し、豊かな社会の創造・発展に寄与する研究者・高度専門職業人となることに強い意欲を持つ者の受け入れを行う。
セラピー	バイオセラピー学専攻では、農学を基盤とした動植物または人の健康や福祉に関する確かな専門知識を有し、バイオセラピー学の学理を追究し、時代を切り拓くための意欲と国際的に活躍できる研究者、高度専門職業人を志す者の受け入れを行う。
バイオ	バイオサイエンス専攻では、国内外を問わず研究活動の場を求め、国際的にも活躍することを志す者、後進の指導に情熱を持ち、大学教員や産業、行政の研究機関におけるリーダーとして研究・教育を行うことを志す者の受け入れを行う。
農化	農芸化学専攻では、食・健康・環境に関わる研究を推進できる知識と技術を有し、独創的な発想と問題解決に取り組む意欲に満ち、将来、研究者や高度専門職業人になることを強く志す者の受け入れを行う。
醸造	醸造学専攻では、醸造産業をはじめとする微生物利用産業に興味を有し、微生物学的又は化学的な研究能力の向上に意欲的であり、微生物や発酵を利用した、食品、医薬品、化学工業、環境関連産業等の分野に研究者として携わることを志す者、当分野の高度な専門知識・技術を駆使して新領域の開拓にチャレンジしようとする者を受け入れる。
食栄	食品栄養学専攻では、食品学や栄養学などの専門領域における確かな知識と研究能力を有し、問題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲を持つ者の受け入れを行う。
林学	林学専攻では、森林学、林業学などを基礎とし、森林環境保全学、森林資源生産学、森林資源利用学、森林文化情報学などの専門領域における確かな知識と研究能力を有し、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力および問題解決へ向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲を持つ者の受け入れを行う。
農工	農業工学専攻では、農業工学に関する高度な知識・技術を有し、地域資源の有効利用と循環型社会構築に高度な専門職業人として、また研究者として貢献したいという強い意欲を持つ者の受け入れを行う。
造園	造園学専攻では、都市や自然地域において快適環境をもたらすための課題解決や関連する高度な教育・研究に積極的かつ意欲的に取り組む人材を求める。具体的には、造園植物・植栽、環境施設・機能、環境資源・生態、造園空間・計画に多くの知見を有し、環境に関する課題解決や高度な教育研究に積極的にチャレンジする意欲的な者の受け入れを行う。
開発	国際農業開発学専攻では、国内外の農業開発や国際協力にかかわる専門領域における知識と研究能力を有し、困難な課題や未解決の問題にリーダーシップを持ってチャレンジすることに強い意欲を持つ者の受け入れを行う。
農経	農業経済学専攻では、自ら社会の問題点や課題を見出し、論理的な思考のもとに研究を体系化するとともに、成果を直接的・間接的に広く社会に還元することに強い意欲を持つ者の受け入れを行う。
ビジネス	国際バイオビジネス学専攻では、食・農・環境ビジネス基礎理論と実践的研究手法を習得し、新たな理論の開発やフィールド研究に取り組む意欲が高く、かつ、食・農・環境ビジネス分野においてシニア専門家としてグローバルな貢献を志す者の受け入れを行う。
共生	環境共生学専攻では、環境悪化に伴う自然生態系の保全や人の生活環境への影響の削減方策など、環境共生型社会の構築と維持を具現化するための理論や方法を探求する研究能力を有し、独創的かつ学際的な立場から社会の発展に寄与し指導できる者の受け入れを行う。
生物産業	生物産業学専攻では、北方圏の農林水産、環境保全ならびに、生物産業経営やそれを可能にするバイオテクノロジーに興味を持ち、地域資源の開発保全と循環型農業の諸課題に取り組む意欲と関連基礎知識を有する自己啓発心にあふれる者の受け入れを行う。